

社団法人登別室蘭青年会議所設立趣意書

登別室蘭青年会議所の礎となる登別青年会議所及び室蘭青年会議所は、それぞれ32年、49年の長きにわたりこの登別室蘭地域で生まれ、それぞれの地域を基盤として「明るい豊かな社会」の実現へ向けて努力してきました。しかし、青年会議所の目指す大きな柱でもある自主自立のまちづくり「地域主権型社会」への実現に向けた運動を展開していくためには、現状の狭い行政枠とらわれた活動では限界であり、今後こうした運動をより効果的に推進していくためにも、より広い地域に対応したJC運動が必要であると確信しました。

私達の住む「登別市」、「室蘭市」は、単に行政の枠組みにより区切られていますが、同一生活経済圏にあり日常生活における障壁は感じられず、産業・文化・生活等、多岐の分野にわたり、無限の可能性を秘めた地域であるといえ、このような地域特性とこれまでの青年会議所運動を鑑み、1998年より両青年会議所は、「連携」という形で活動を進め、自主自立のまちづくりの必要性や地域の広域連携ひいては行政合併の必要性を地域住民に向け発信し、訴え続けておりその結果、少しずつではありますが住民の意識にも変化が現れました。

こうした活動により、より結束が深まった両青年会議所は、両市をひとつの地域ととらえ、地域住民が主役となる広域的なまちづくり、ひとつづくり運動を展開するため、具体的な目標の第一段階として、両青年会議所を『統合』するという前向きな選択をしました。

統合し、まず第一歩登別室蘭青年会議所として、登別室蘭地域というより広い視野で、政治、経済、社会、文化等に関する調査研究及びその向上に資する事業に関して、住民自治に関する会議の開催と調査、青少年健全育成推進事業の開催、コミュニティ協働実践事業等の開催、両市市政に関する調査・研究及び提言を行うとともに、組織進化に関する調査、研究及び実践などの事業を行います。また、私達が住むまちは、高齢化が進み、青年層に求められるものは非常に深刻かつ重大な事象が待ち受けていることから、今後、組織、事業の充実、強化を図りながら、より時代に即応した運動展開を目指したいと考えており、私達青年層が育ってきたこの地域の社会的、文化的振興を促進するため、より実践的な公益活動を展開し、貢献していく決意であります。

今こそ私達は、強い信念と高い志、理想を掲げ、自主自立の精神のもと自らを鍛え磨き、友情・信頼・協力の精神を育み、地域やそこに住む人々を愛し、新しい道を切り開いていく行動が必要であると感じています。私達がこの地域の命題に立ち向かい、地域全域に対応したJC運動を強力に推進・展開して行くためにも、社団法人登別青年会議所と社団法人室蘭青年会議所は統合により、新しい地域の創造、構築のため行政枠を越え、「明るい豊かなまちづくり」への実践に取り組んでまいります。